

県は運休となり、ANAは「当初の計画では夏ダイヤでの運航を予定していた」と説明した。

那覇―中部、石垣―中部は年末年始に1日1往復ずつを増便する。那覇―羽田、石垣―羽田、那覇―福岡

沖繩総合事務局

OISTを支援

沖繩PTとの事業に補助金
沖繩総合事務局(能登靖局長)は24日までに、沖繩科学技術大学院大学(OIST、恩納村)と同大ベンチャー企業沖繩プロジェクトモグラフィ社(沖繩PT、恩納村)に対して、中小企業庁の2016年度戦略的基盤技術高度化支援事業の補助金4500万円の交付決定をした。

沖繩PTは、OISTのウルフ・スコグランド教授が開発した、タンパク質の分子構造を3次元で可視化する技術を活用して、低コ

て運休となる。那覇―宮古は夏場の高需要期に増便していた部分を当初の便数に戻す。

貨物専用機は広州―那覇の片道週6便が再開する。関西―那覇は片道週12便が同6便に減便となる。

スト化と解析時間短縮を図るため、2次元解析の技術確立などを目指す。3年後の事業化を想定する。

2016.8.25 (THU)
琉球新報 (P5)

